

# 資料No.5-1

江田島市交流定住促進協議会  
令和3年3月24日

## 令和3年度 江田島市交流定住促進協議会 事業計画（案）について

### 1 活動方針

本市では、人口減少・少子高齢化が急速に進んでおり、このままでは近い将来自治体としての機能維持が危ぶまれる事態にある。こうした状況を改善するため、移住者を獲得し、仕事の場の創出・確保により、若い世代の定住を促進する。

今般の新型コロナウイルス感染拡大により、地方移住への関心は高まっている。江田島市交流定住促進協議会では、市や関係団体等と連携し、移住交流拠点施設フウドを中心とした移住相談対応、企業の誘引・相談対応、市内外の交流を通じて、移住定住促進及び交流人口・関係人口の拡大を目指す。

### 2 事業について

#### (1) 移住交流拠点事業

##### ア フウド事業

平成29年度から開始し、令和3年度は事業開始4年目に当たる。今後も引き続き、移住交流拠点施設フウドにおいて、イベント・セミナー実施等を通じ、市内外の交流を図る。移住定住促進のハブとしてフウド運営を行う。(外部委託事業)

##### イ お試しサテライトオフィス事業

令和2年度の組織改編により、企業誘致が政策推進課へ移管したことを受け、予算組替えを行った。令和3年度予算から政策推進課が所管となる。

#### (2) 移住定住事業

移住希望者の相談対応、空き家バンクの物件内覧案内を引き続き行う。市が行う移住促進事業と連携し、移住促進を図る。(外部委託事業)

#### (3) 婚活イベント支援事業

婚活イベント支援事業については、連携している県事業が見直しにより廃止したため、本事業も令和3年度においては、大幅に予算を縮減する。

ただし、広島中央地域連携中枢都市圏（呉市を中心とした広域連携）事業で、婚活イベントのPR経費として5千円の負担金を依頼されているので、これについては予算計上する。

#### (4) その他

その他必要に応じて取組を実施する。